

動く絵本

Moving picture book

A班

佐藤 可菜

今宮 愛夏

大野 隼生

尾形 笑

教材の対象

- 小学校高学年
- 10～12歳

教材の目的

1. 放射線は身近にある

- 放射線はゼロではない
- CTやレントゲンなどに利活用されている

2. 自分の考えや判断する力を身につける

教材の詳細

- 対象者が実際に手を動かして、絵本を視覚的に変化させる
- 文字のみで理解するより、イメージが付きやすい

教材のイメージ

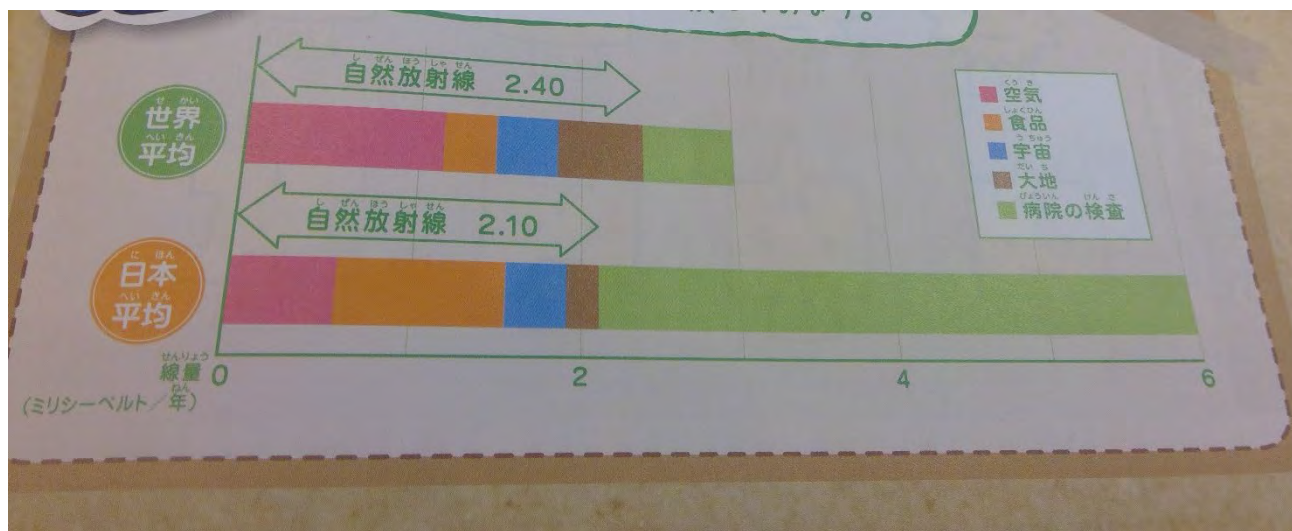
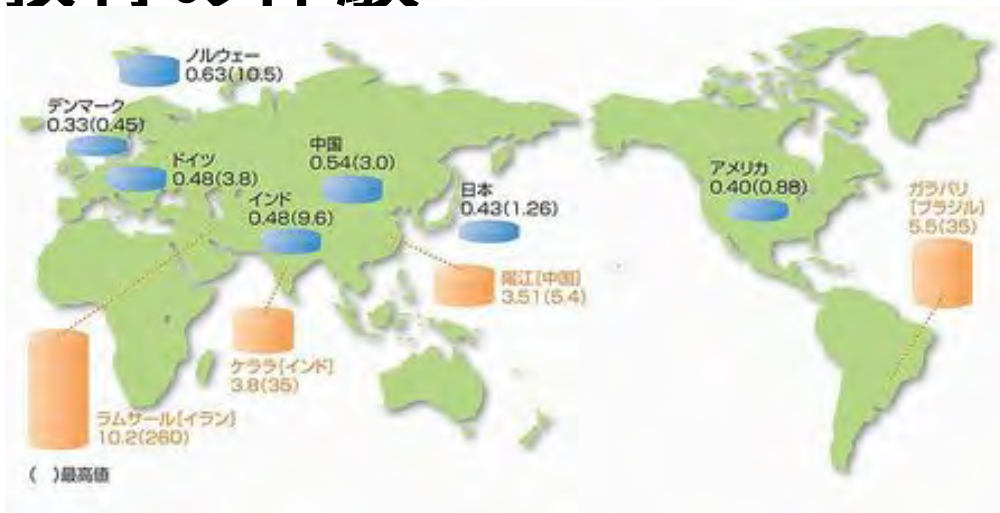
- 帯を引っ張ることで
図柄が変化
→ 想像力や、理解力の
向上を推進



教材のイメージ

- 主人公：対象者と同じくらいの小学生
- テレビをきっかけに、身近にある放射線について学んでいく
- 表・グラフなども入れて、発展的な内容や、豆知識なども入れていく

教材の体験



教材の体験



食べ物にも放射線は
含まれている

しかし、とても少ない量

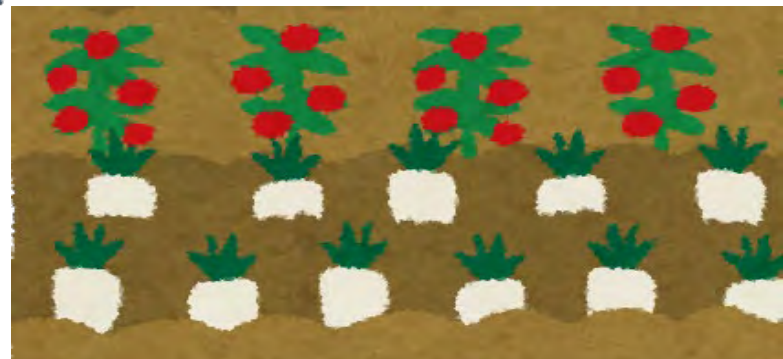
危険とされている100mSvには
大根 51000 本も食べないと

いけないんだ

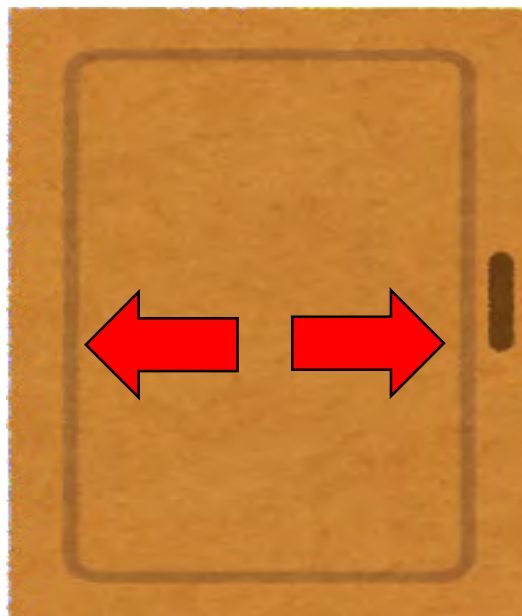
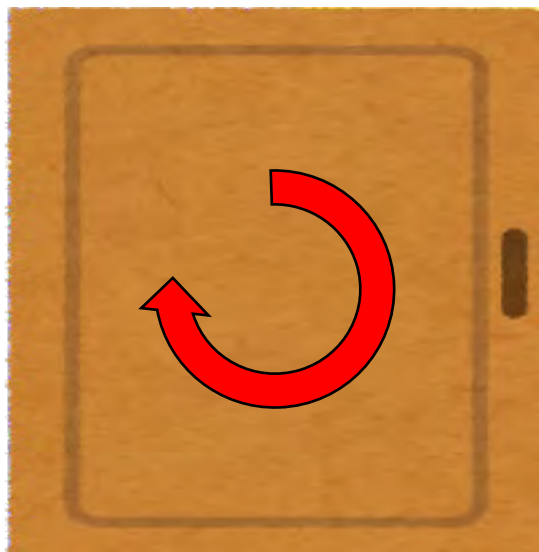
宇宙からも放射線は常に
降り注いでいる

危険とされている100mSv

になるには約333年間浴び
続けないといけないんだ

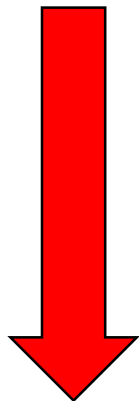


教材のイメージ



ここは、病院の待合室です。
病院では、放射線がどんなことに
使われているかな？

教材のイメージ



温泉にも放射線が含まれている
お100 mSvを超えるのは22年せ
入り続けなければならない



教材のイメージ



まとめ

- 放射線は食べ物など
私たちの身近に**ある** →
- 放射線は**量**が問題 →
- しかし日常生活での
放射線は問題では**ない** →
- 放射線は、正しく使用すれば
私たちに大きな利益を
与えてくれる →

ご清聴、ありがとうございました。